

まわし姿で安全訴える

春の全国交通安全運動

春の全国交通安全運動(5月11日から20日まで)の街頭啓発が5月11日、平館地内で行われました。

活動には、平館高校相撲部員や岩手警察署、市の交通安全関係団体などから約60人が参加。国道282号西根バイパスの駐車帯で、交通ルール順守などを呼び掛けました。まわし姿で参加した相撲部員13人は『どすこい! S T O P 交通事故』と書かれた横断幕を掲げたほか、運転手に「交通事故に気を付けてください」などと声を掛け、啓発活動に努めました。



平館高校相撲部員が事故防止を呼び掛け



声を掛けながら入院患者さんの足を洗う参加生徒

会話で心通じ合わせる

ふれあい看護体験

市国保西根病院の「ふれあい看護体験」が5月14日に行われました。

体験は、看護の日(5月12日)にちなんで毎年開催されており、ことしは市内出身の中・高生7人が参加。生徒たちは、病院の概要や院内設備の説明を受けたほか、入院患者さんの足を洗ったり、血圧の測定方法を教わったりしました。足を洗う際は「熱くないですか」「これで大丈夫ですか」などと自然に声を掛け、看護師としての思いやりの心を学びました。

すくすくと成長してね

市営牧野での放牧開始

市営上坊牧野での放牧が5月12日に始まり、242頭の乳牛が牧野で伸び伸びと牧草をはんでいました。

放牧前には、乳牛1頭ずつの体重測定や予防接種などを実施。その後、牧野に放たれた牛たちは、のんびりと草をはんだり、飛び跳ねたりしていました。また、5月19日から26日にかけて、日本短角種や黒毛和種の放牧も市営七時雨牧野と長久保牧野で始まり、延べ578頭の牛たちは、11月ごろまで牧野での生活を送ります。



牧野でのんびりと草をはむ牛たち(上坊牧野)

落差15mの不動の滝を見るために訪れた多くの観光客



春の心地よさににぎわう

日本の滝百選 不動の滝まつり

不動の滝まつりが5月3日、桜松公園で開催され、市内外から多くの観光客が会場に足を運びました。

まつりでは、地元のあしろ、畑両保育園の園児が踊りなどを披露。紅白餅や菓子の振る舞いも行われ、特設会場周辺はにぎわいました。雪解け水で迫力を増した日本の滝百選の「不動の滝」の様子に見入る人や、地元ガイドの案内を受け、公園内を散策する人など、来場者は思い思いに周辺の春を感じながら、まつりを楽しみました。



関係者らが紅白餅や菓子を振る舞いました

残雪踏みしめ開山祝う

八幡平山開き

八幡平の山開きが5月24日に行われ、本格的な夏山シーズンが到来しました。

八幡平アスピーテラインの見返り峠駐車場で、神事と山開き式を挙行し、岡田久副市長が「十和田八幡平国立公園として、来年、指定60周年を迎える。祝福の機運を高めるため、多くの人に八幡平を訪れてもらいたい」と、あいさつ。約60人の登山隊が頂上を目指しました。参加者は、八幡平の残雪を踏みしめながら、雄大な景色を楽しみました。



市旗を先頭に頂上を目指す登山隊

すなっぷギャラリー



平成27年度市統計調査委員協議会総会・研修会を開催(5月8日、岩手山焼走り国際交流村)



上坊牧野の一本桜と岩手山(5月3日)



トラの着ぐるみと交通ルールを学ぶ保育園児たち(5月13日、田山保育所)



1、2歳児が参加する恒例行事「一升餅を背負って歩こう」を開催(5月5日、道の駅にしね)



地元の子どもたちが舞を披露した浅沢神楽まつり(5月4日、浅沢神楽伝承館)